

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立コザ高等学校
校長 大濱 裕司

平成30年度県立コザ高等学校学校評議員について(報告)

平成31年1月8日付け教県第2043号により依頼のありました、みだしのことについて下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	平成30年7月25日 (水)17時～	場所	コザ高等学校校長室	出席 状況	4名
第2回	日時	平成30年12月19 日(水)17時～	場所	コザ高等学校校長室	出席 状況	1名
第3回	日時	平成31年3月14日 (木)17時～	場所	コザ高等学校校長室	出席 状況	3名

2 学校評議員に求めた事項

- ①校長より、本校教育目標や生徒の活躍・教育活動のようすを説明し、忌憚のない意見を要望した。
- ②教務主任より、学校行事の周知方法や学校生活について意見を求めた。
- ③進路指導主任より、本校の進路指導のあり方について意見を求めた。
- ④生徒指導主任より、生徒指導全般に対する意見を求めた。
- ⑤定時制課程の教頭より、定時全般について意見を求めた。

3 学校評議員の意見

- ①高校総体8連覇等生徒の活躍が素晴らしい。今後も文武両道を実践して貰いたい。
- ②メールサービスに対する保護者の登録数をどのように増やすかが学校行事の周知に影響するので、登録数を増やす取り組みを強化して貰いたい。生徒は学校生活には概ね満足しているようである。
- ③医学部に合格したことは大変喜ばしいことです。これからも高得点にばかりとらわれるのではなく目的意識をもった生徒を育ててほしい。
- ④保護者アンケート結果を見ると、質問項目にある「家庭学習の習慣化についての取り組みの工夫」とは学校側か家庭側のどちらに対する質問なのか読み取りにくい。
- ⑤コザ高校には定時制課程もあることをもっとアピールする必要がある。

4 学校運営に反映した事項

- ①メールサービスの登録者数を増やすために、登録方法を簡素化し複数回の周知を行った。
- ②コザノートの周知を年度当初に行い、特に特進クラスの生徒に対しては担任を通して活用を推進したり、全生徒の中で多く活用している生徒の表彰等を実施して周知を強化した。
- ③一昨年から実施している進路指導部主催の8時間自主学習会も継続しており、今年度は5回実施することで生徒の希望進路実現に向けた取り組み体制が出来つつある。
- ④いじめアンケートの実施前に、三者面談時にいじめ早期発見チェックリストを配布して早期発見の強化を図った。

5 課題その他

- ①真の文武両道を実現するために、生徒の希望進路実現に向けた更なる取り組み強化と体制構築。
- ②いじめやその他の生徒指導の問題に対して、生徒指導部の指導体制の再検討。